

～あなたの街の火災傾向を知って、火災予防に取り組みましょう～

火災の傾向（平成21～25年）

火災件数が多くなっています

火災件数が5年間で57件、年平均で約11件と非常に多くなっています。

【5年間火災件数】

・札幌市全体	3,080 件
・市内87地区平均	35 件
・市内87地区内順位	10 位

ごみ収集車からの火災が多くなっています

スプレー缶の誤った処分方法等に起因するごみ収集車からの火災が全体の約4分の1（26.2%）を占めています。

【り災物の状況：ごみ収集車割合】

・札幌市全体	10.4%
・市内87地区平均	11.7%
・市内87地区内順位	4 位

放火が多くなっています

火災原因は、放火が多く、約2割（21.1%）となっています。

【火災原因：放火火災割合】

・札幌市全体	21.6%
・市内87地区平均	20.5%
・市内87地区内順位	39 位

日中の火災が多くなっています

火災発生時間帯は6～12時が約28%、12～18時が約33%であり、日中の火災が約6割を占めています。

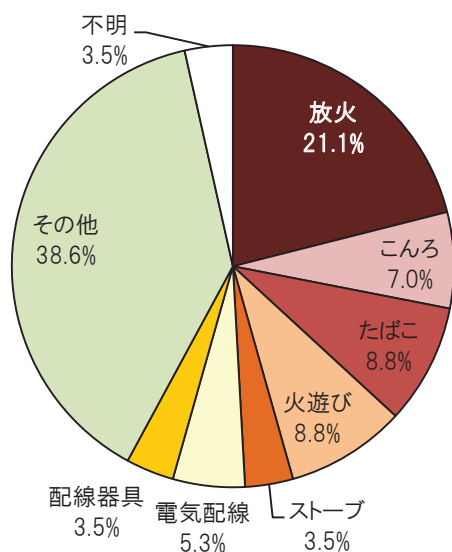
【火災発生時間帯：日中割合】

・札幌市全体	53.4%
・市内87地区平均	54.3%
・市内87地区内順位	22 位

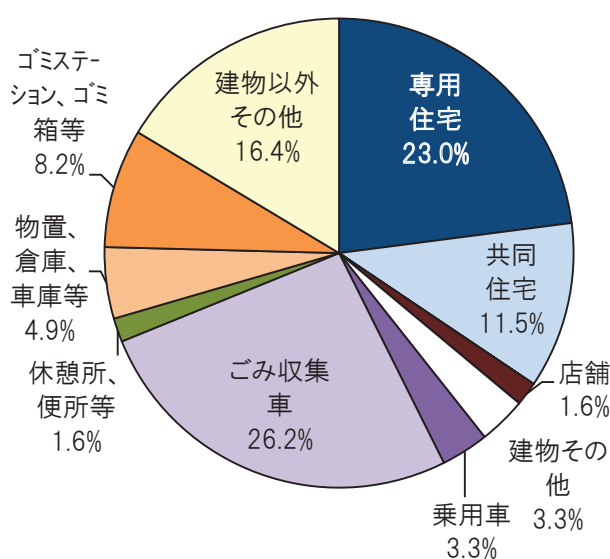
火災データ（平成21～25年）

◆ 平成21～25年合計火災件数 57 件

◆ 火災原因



◆ り災建物等



火災予防対策は裏面をご覧ください

火災予防対策

放火を防ぐためのポイント

- ◆ごみは決められた日の朝に出しましょう！
- ◆戸建て住宅のまわりには物を置かないようにしましょう！
- ◆物置や車庫、車両などは必ず鍵をかけましょう！
- ◆人目の付きにくい場所での放火に注意しましょう！
- ◆センサー付き照明器具などの外灯をつけ、家の周囲を明るくすると効果的です。



火遊びによる火災を防ぐためのポイント

- ◆子どもの手の届くところにはライター、マッチ等を置かないようにしましょう！
- ◆普段から子どもに火の恐ろしさを教えましょう！
- ◆火災予防行事への参加や市民防災センターへ行ってみましょう！



ごみ収集車からの火災を防ぐポイント

- ◆スプレー缶やカセットボンベなどは中身を使い切ってから、決められた日に捨てましょう！

スプレー缶等の残ガスが、ごみ収集車の中で引火して火災が発生しています。

スプレー缶等は、中身を使い切り屋外の火気の無い場所で穴をあけ、「燃やせないごみ」の日に、指定ごみ袋とは別の透明または半透明の袋に入れて廃棄します。



「あなたの街の火災」は火災被害の低減と市民の火災予防意識の高揚を図る目的で、札幌市消防局が平成21～25年の火災データをもとに、87地区のまちづくりセンター別に各地区の火災傾向とその予防策を記したものです。

◆札幌市や他地区の火災データは札幌市公式ホームページから
 札幌市ホームページ > 防災・防犯・消防 > 消防・火災予防 > 火災予防
<http://www.city.sapporo.jp/shobo/yobo/top.html>



さっぽろ市
02-N06-15-372
27-2-287

